

吐物処理



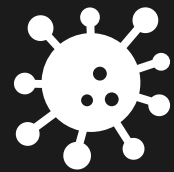


子どもが嘔吐したら・・・

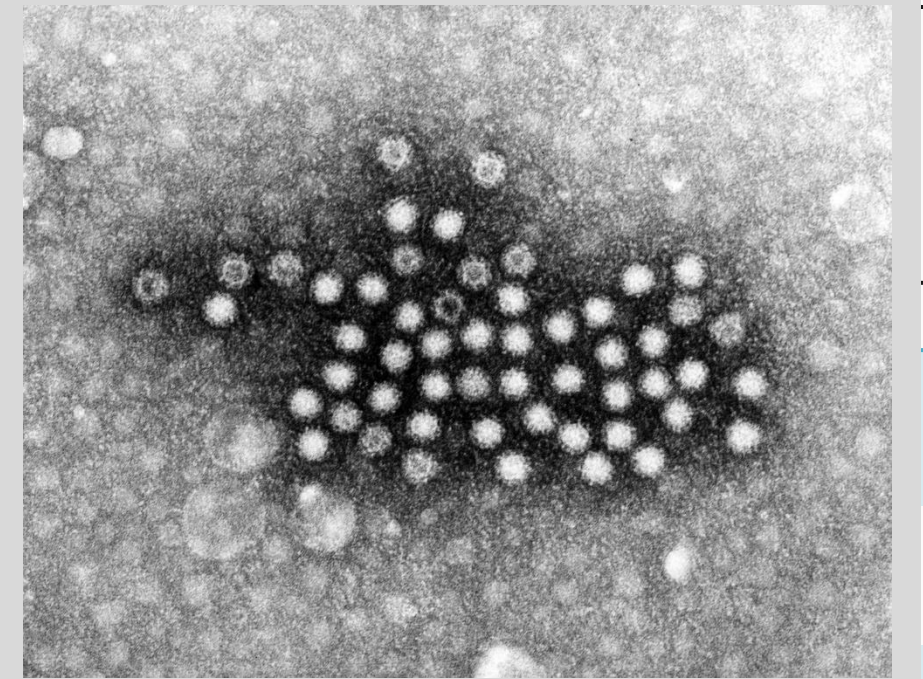
嘔吐を見たら、とりあえずノロを疑う！

- 吐物を消毒処理
- ノロウイルスは次亜塩素酸ナトリウムしか効かない
- 皮膚は洗い流す（流水と石けんによる手洗い）
- アルコール手指消毒剤の効果は期待できない





感染性胃腸炎（ノロウイルス）



ノロウイルスの電子顕微鏡写真（東京都健康安全研究センター,
<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/emi/noro/> より引用）

病原体

ノロウイルス

潜伏期間

1～2 日

感染経路

接触感染、経口（糞口）感染

嘔吐物等の不適切な処理で、エアロゾル化した吐物から感染

症 状

嘔気／嘔吐、下痢、腹痛、発熱
＜合併症＞けいれん、肝炎、まれに脳症

感染期間

症状のある時期がウイルス排泄期間のピーク
症状軽快後も長期間にわたりウイルスを排泄することがある

治 療

対症療法（脱水に注意）

＜参考＞
登校基準

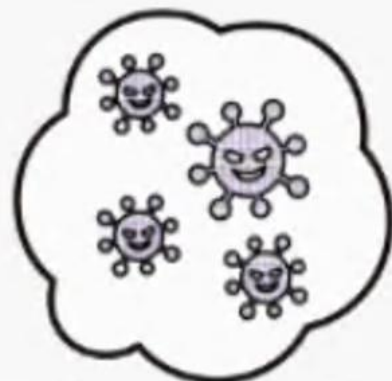
下痢、嘔吐症状が消失した後、**全身状態のよい者は登校（園）可能**であるが、**手洗いを励行**する



ノロウイルスの感染経路

厚生労働省、「食品に関するリスクコミュニケーション」-ノロウイルスによる食中毒を予防しましょう-ノロウイルスによる食中毒の現状と対策について、
国立医薬品食品衛生研究所 野田 徹, <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-ShokuJinanzentou/0000105662.pdf>,
北海道立衛生研究所, ノロウイルスによる食中毒・感染症情報誌, <https://www.iph.pref.hokkaido.jp/topics/norovirus1/norovirus1.html> をもとに作成

ノロウイルス



汚染された食品など

加熱不十分のまま食べる



ノロウイルスに感染・発症



嘔吐・下痢

ノロウイルスが付着



調理者の手



感染者が触ったもの



おう吐処理をした人の手、
布、床、空気中を漂う塵埃

ノロウイルスに感染・発症！



ノロウイルス

少ないウイルス量で感染
10～100個で感染成立



吐物 1グラムあたり
1万～10万個程度

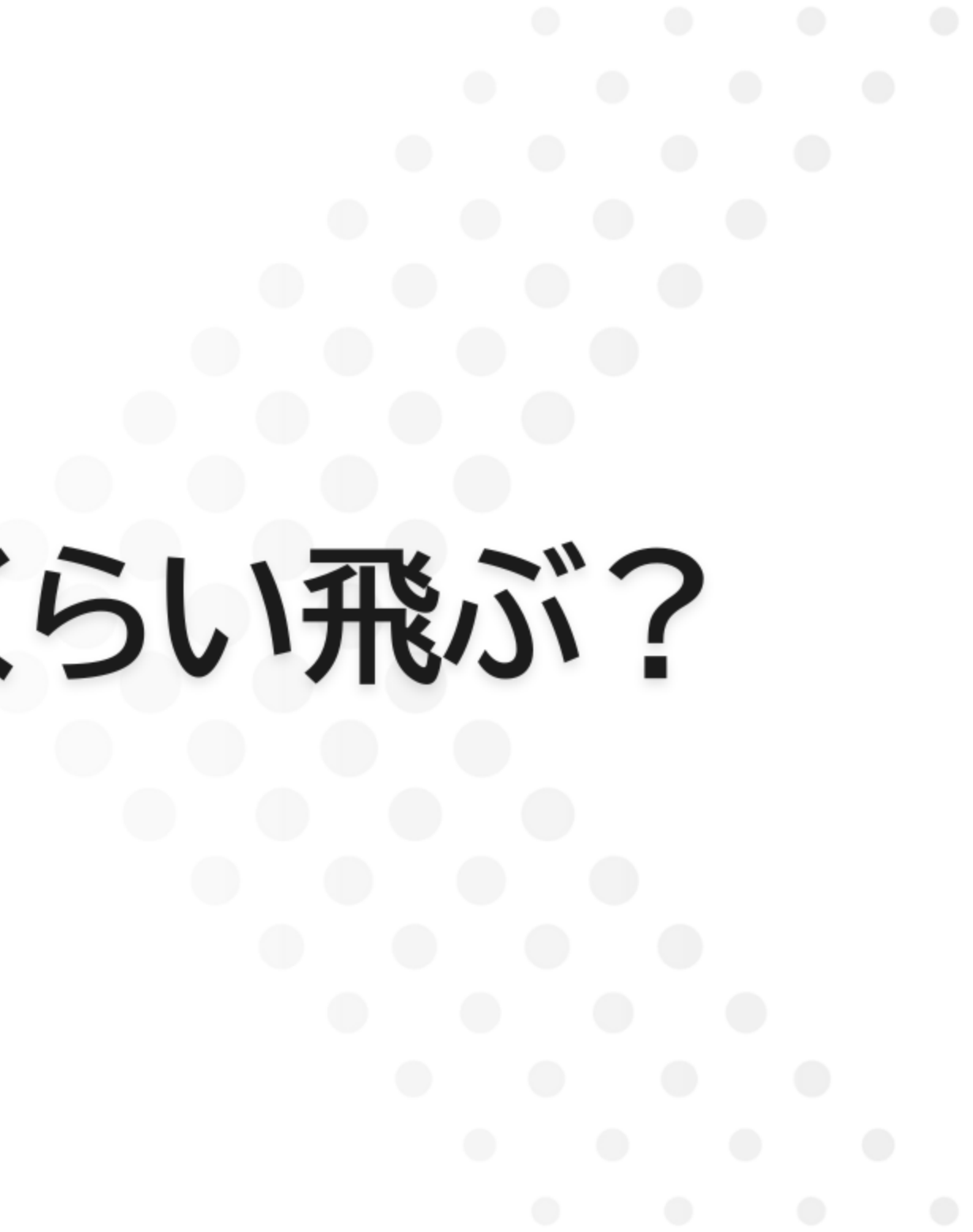


発症初期の糞便 1グラムあたり
約10億個程度



実演

吐物はどのくらい飛ぶ？





室内で嘔吐したら・・・

すばやく吐物进行处理することが大切

- 半径2m程度に飛散
- 飛沫を浴びたり、吸い込んでも感染
- 消毒せずに掃除すると、さらに拡大
- 手洗いシンクや汚物処理槽周りの飛散
- 手袋、マスク、エプロンを着用して処理
- 着衣汚染に注意

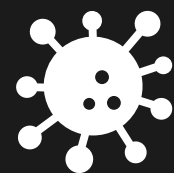
✓すぐに使い捨て手袋が取り出せるように準備しておきましょう。

✓吐物の飛び散っている不潔区域には、嘔吐処理する職員以外は立ち入らない！

足の裏やひざ、手に注意！！



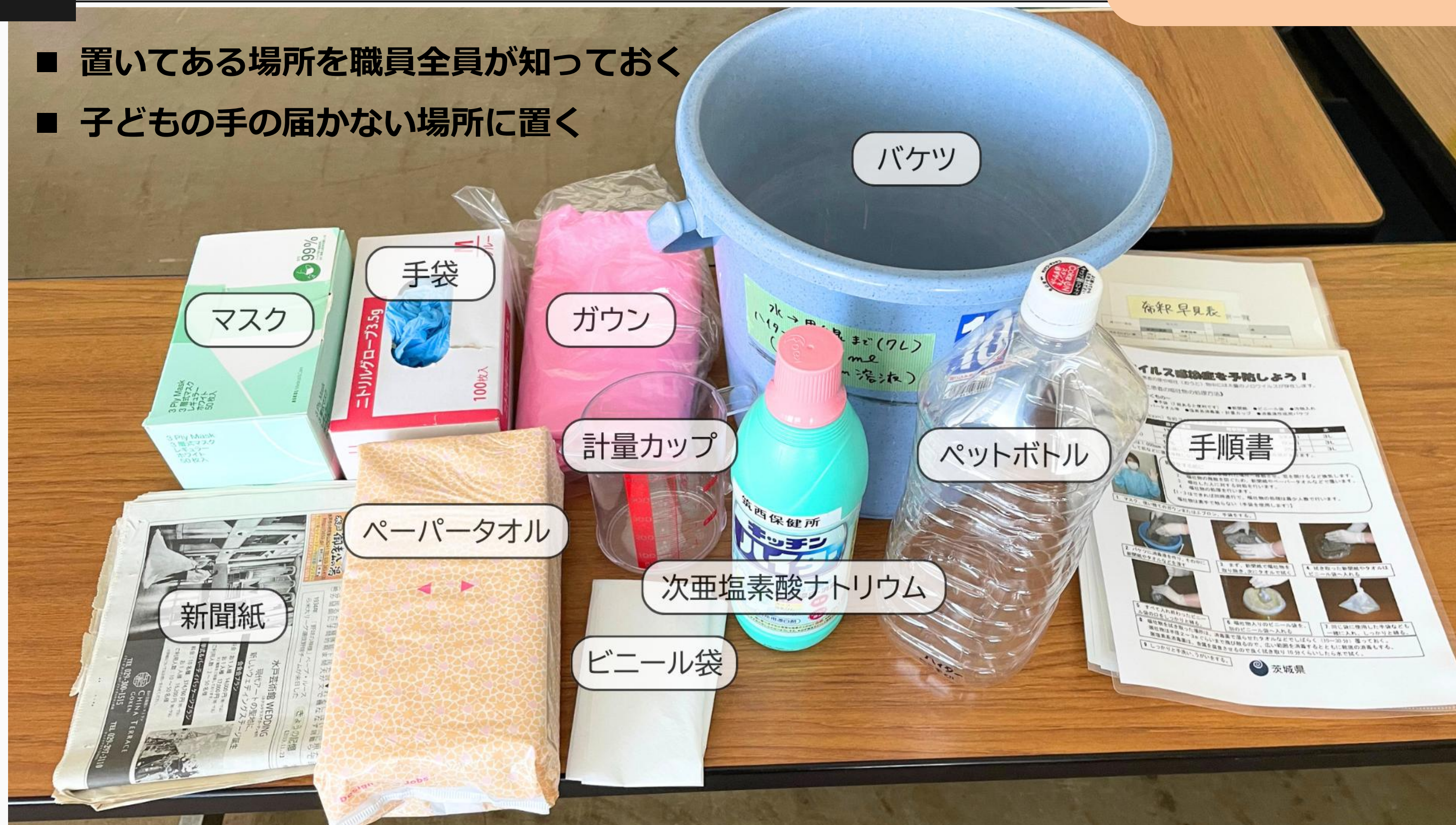
東京都健康安全研究センターノロウイルス対策緊急タスクフォース中間報告
<http://www.tokyo-eiken.go.jp/news/presskenan071101.html>



吐物処理セット

事前に準備しておく

- 置いてある場所を職員全員が知っておく
- 子どもの手の届かない場所に置く





吐物処理用の消毒液の作成

ハイター製造から3か月以内の場合

市販の塩素系消毒剤や漂白剤は、6%くらいの濃度（使用前に表示確認）です。空ペットボトル（2ℓ）などを用い、消毒液が簡単に作れます。

●0.02%（200ppm）次亜塩素酸ナトリウムの作り方

★ペットボトルのキャップ1杯は約5mlです。

原液が6%の場合 ペットボトルキャップ2杯弱の原液を水で2ℓに希釈する。

➡ 食器、衣類などの消毒に用いてください。
ただし、色落ちに注意してください。

●0.1%（1000ppm）次亜塩素酸ナトリウムの作り方

原液が6%の場合 ペットボトルキャップ8杯強の原液を水で2ℓに希釈する。

➡ ふん便やおう吐物などの汚物を除去した後に用いてください。



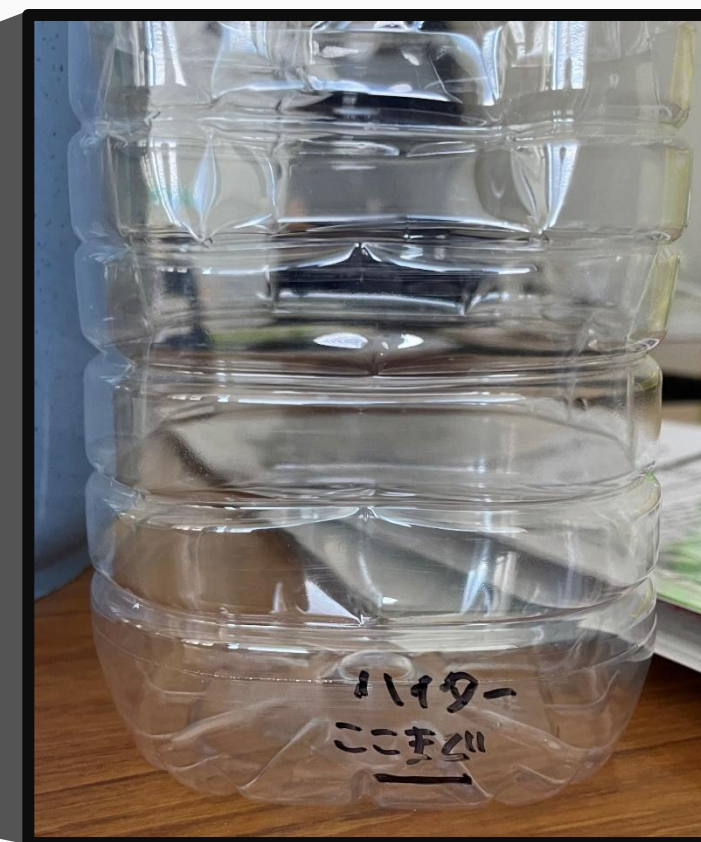
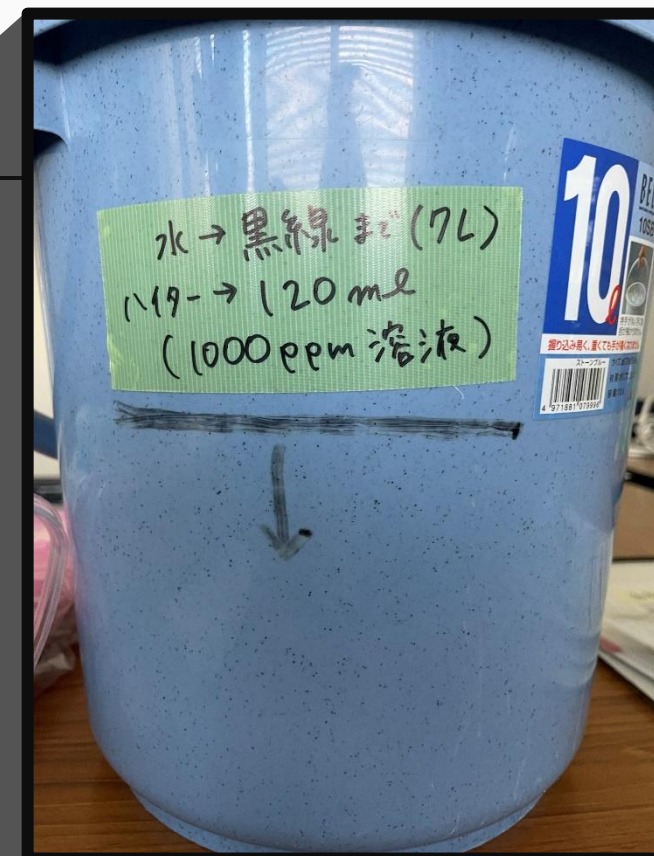
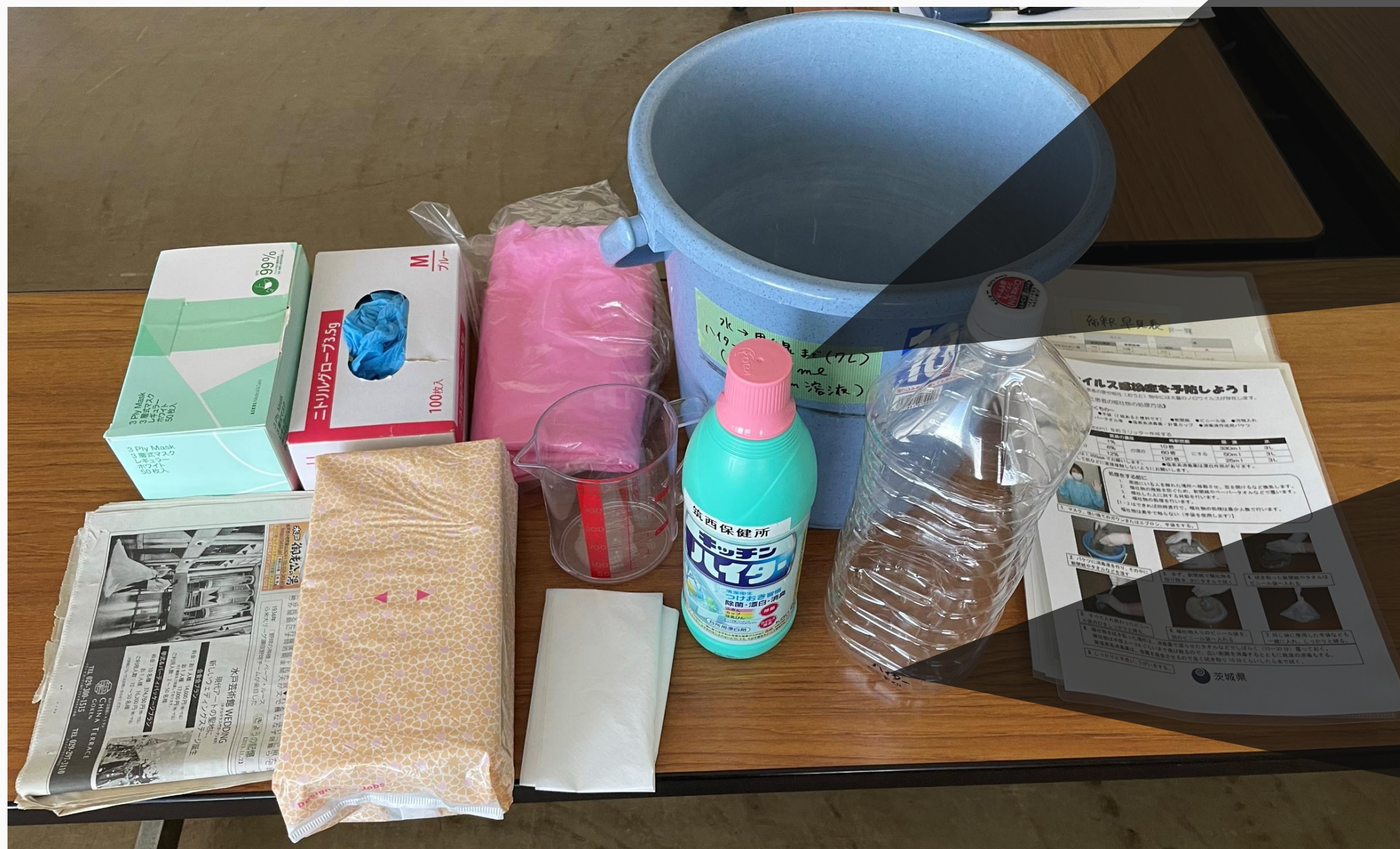
★消毒液を作る際は、手袋を着用してください。消毒液は冷暗所に保管し、子どもなどが触れないよう注意してください。

★時間が経つにつれ効果が薄れますので、使用するたびに調整して下さい。





吐物処理セット





吐物処理時の注意点

処理時は換気を！

吐物等の処理時とその後は、

- 大きく窓を開けるなどして、室内に新鮮な空気を入れ**換気を行なう。**
(室内にウイルスを滞留させることのないように)
- 換気設備(換気扇等)がある場合には運転する。



洗えないものに吐物が付いたとき

- カーペットなどが嘔吐物で汚染された場合は、嘔吐物を処理した後、**アイロンで加熱し消毒**する。
 - 熱消毒が可能な場合は、**85℃を1分以上保つ。**
- ※ドライヤーは空気中に巻き上げるので使わない。



实践

吐物处理方法



①

患儿が嘔吐したら．．．

患儿



室内で嘔吐！



先生（発見者）

嘔吐物が喉に
詰まっていないか確認
応援の先生を呼ぶ

②

汚染/清潔エリアの区域分け

吐物が飛散しているエリア（汚染エリア）

1メートルの高さから嘔吐すると、
半径2メートルに広がり、
高さ1.6メートルにまで舞い上がる

患儿



半径2メートル程度を
汚染エリアと想定

吐物処理する人はこのエリア内
にとどまって処理する！



吐物処理を行う職員

吐物が飛散していないエリア（清潔エリア）

嘔吐している児以外は、離れさせ、
できれば汚染エリアに入らないように！



応援に来た職員

③

応援を呼ぶ・換気を行う

吐物が飛散しているエリア（汚染エリア）

患儿



A先生、換気と
〇〇ちゃん（患儿）の対応を
手伝ってください



B先生、嘔吐物処理セットを
持ってきてください

吐物処理を行う職員

吐物が飛散していないエリア（清潔エリア）

はい。
（窓開け換気を行う）

A



はい。
（処理セット用意）

B



応援に来た職員

④

嘔吐物処理セットを持ってくる

嘔吐物が飛散しているエリア（汚染エリア）

患儿



嘔吐物処理を行う職員

嘔吐物が飛散していないエリア（清潔エリア）



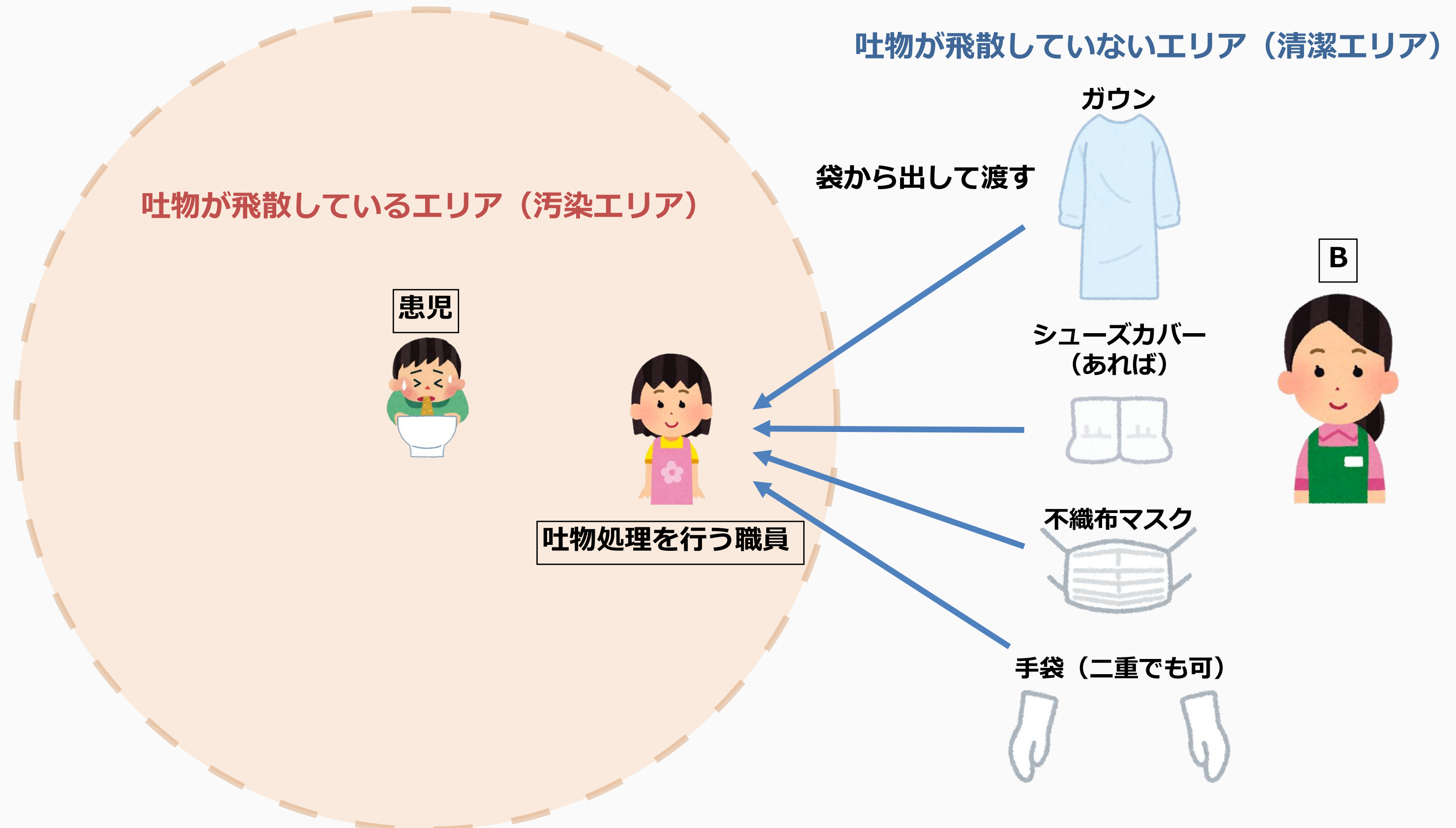
B



嘔吐物処理セットは、
嘔吐物から離れた位置
（清潔エリア）に置く

⑤

吐物処理を行う職員に個人防護具を渡す



⑥

着用する個人防護具

吐物処理を行う職員



- マスク
- ガウン
- 二重手袋
- シューズカバー

応援職員（汚染エリアには入らない）



- マスク
- ガウン／エプロン
- 手袋

自分が感染しないために
感染を広げないために

⑦

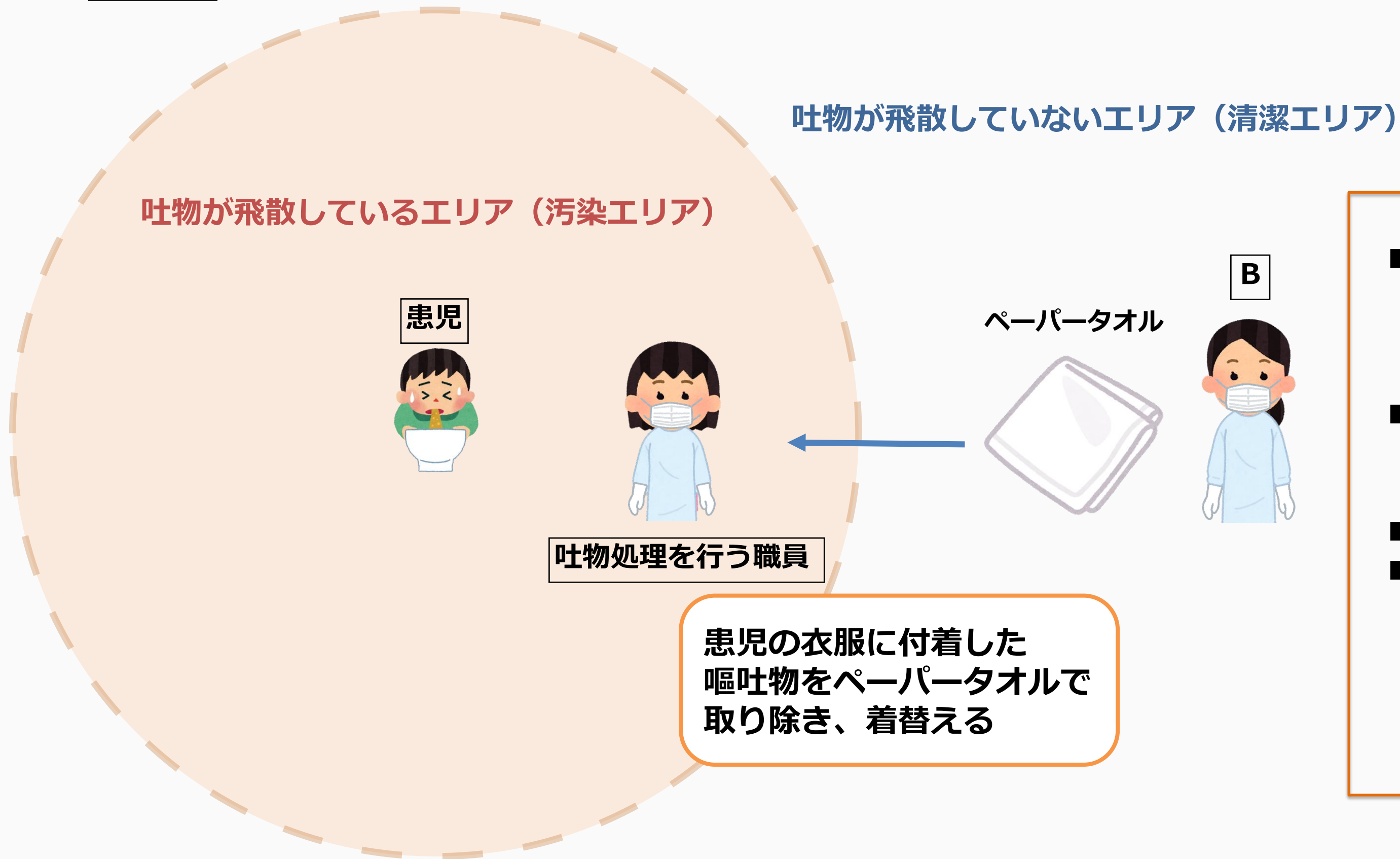
吐物にペーパータオルや布、新聞紙をかぶせる

吐物処理を行う職員



空気中にウイルスが舞うのを防ぐ！

目に見える吐物全体を新聞紙等で覆います。
濡らした新聞紙でも構いません。



- 汚染された衣服は、二重のビニール袋に密閉して家庭に返却。（園では洗わない）
- 家庭での消毒方法等について保護者に伝える。
- 患児の靴底は汚れている。
- 患児が靴を履いたまま移動する場合、0.1%次亜塩素酸ナトリウムをしみこませたタオルで靴底を拭くか踏ませる。

吐物が飛散していないエリア（清潔エリア）

吐物が飛散しているエリア（汚染エリア）

患児



吐物処理を行う職員

大丈夫だよ。

A



患児の状態をB先生に伝え、
対応を依頼
患児とB先生は別室へ移動

別室移動後の対応

- 可能な園児はうがいをさせる。
（できない場合は、口腔内の吐物を取り除く）
- 繰り返し嘔吐がないか様子を見る。
- 何をきっかけに嘔吐したか確認する。
（咳で吐いた、吐き気があったか等）
- 感染症が疑われる時は別室で安静にさせる。
（寝かせる場合は嘔吐物が気管に入らないように横向きにさせる）等

⑩

物品の設置

吐物が飛散しているエリア（汚染エリア）



吐物処理を行う職員

吐物が飛散していないエリア（清潔エリア）



応援に来た職員



ゴミ箱は汚染エリアに近い清潔エリアに置く

⑪

吐物のふき取り・ゴミ処理

吐物処理を行う職員



最初に、嘔吐物を取り除いておくことが、有効な消毒に必要！



応援に来た職員

吐物処理を行う職員に、0.1%次亜塩素酸ナトリウムが入っているペットボトルを渡す

ゴミ袋の空気は抜かずに閉じる！

吐物処理を行う職員



⑫

床の消毒



吐物処理を行う職員

次亜塩素酸ナトリウムを上からかけます。

先ほど「汚染エリア」と想定した範囲

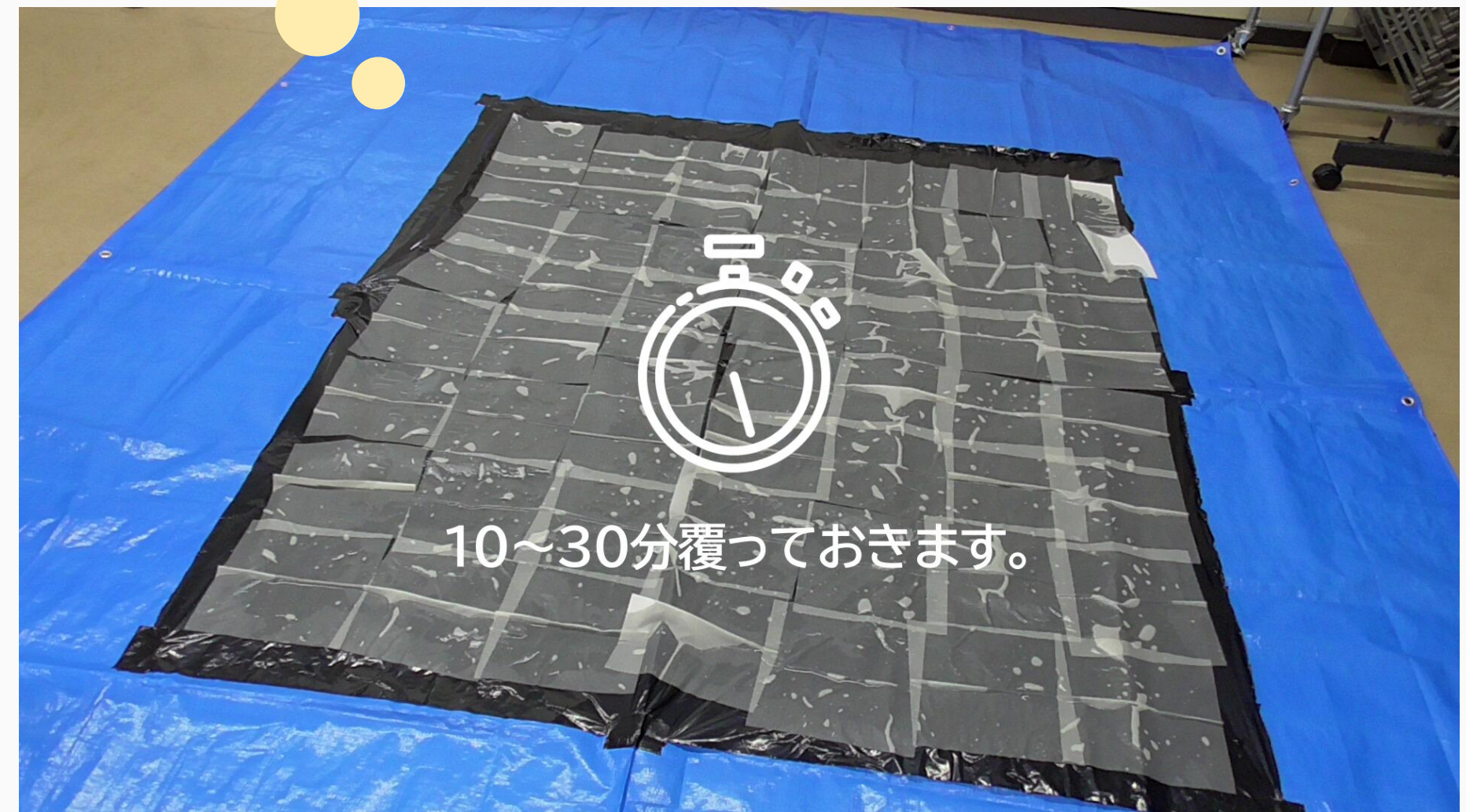


応援に来た職員

吐物処理を行う職員に、
新聞紙やペーパータオル等を渡す。

消毒液をスプレーで吹きかけると、病原体が舞い上がり、
感染の機会を増やしてしまうため、噴霧はしない。

ノロウイルスを不活化する
(感染性を失わせる) のに必要な時間です！



10～30分覆っておきます。

⑬

周囲の消毒

吐物処理を行う職員

一方向に拭く

周囲の床や壁など汚染の可能性がある箇所を広めに、
次亜塩素酸ナトリウムで濡らしたペーパータオル等で拭き取ります。

0.1%次亜塩素酸ナトリウムをしみこませた
ペーパータオルやボロ布で、
拭き取り面を折り込みながら
吐物のあった周囲を静かに拭く

先ほど「汚染エリア」と想定した範囲

上から下に拭く

周囲の床や壁など汚染の可能性がある箇所を広めに、
次亜塩素酸ナトリウムで濡らしたペーパータオル等で拭き取ります。

①4

消毒液のふき取り



水拭きしないと変色・腐食のおそれあり



応援に来た職員

吐物処理を行う職員に、
ペーパータオルやボロ布等を渡す。

①5

ゴミ処理

吐物処理を行う職員

吐物が飛散しているエリア（汚染エリア）

ゴミ袋に0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液を新聞紙が浸る程度に入れる

吐物が飛散していないエリア（清潔エリア）

汚物をふきとった新聞紙等（ゴミ袋内）の消毒

ペットボトルも捨てる。

16

シューズカバーを脱ぎ、靴裏を消毒して汚染エリアから出る

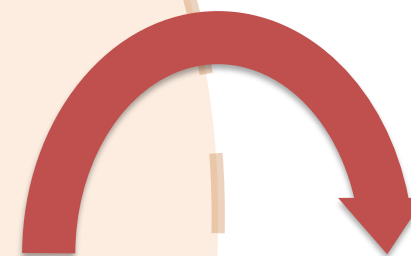
自分の靴裏も汚染されていることを
忘れずに！

吐物が飛散しているエリア（汚染エリア）

吐物が飛散していないエリア（清潔エリア）



吐物処理を行う職員



出る前に靴裏を
消毒しましょう



応援に来た職員

吐物処理をしていた人は
シューズカバーを脱ぎ、
靴裏を消毒して清潔エリアにでる

①7

靴裏を消毒

吐物処理後の靴裏は汚染されているため、
次亜塩素酸ナトリウムを含ませたタオル等で消毒します。

吐物処理を行う職員

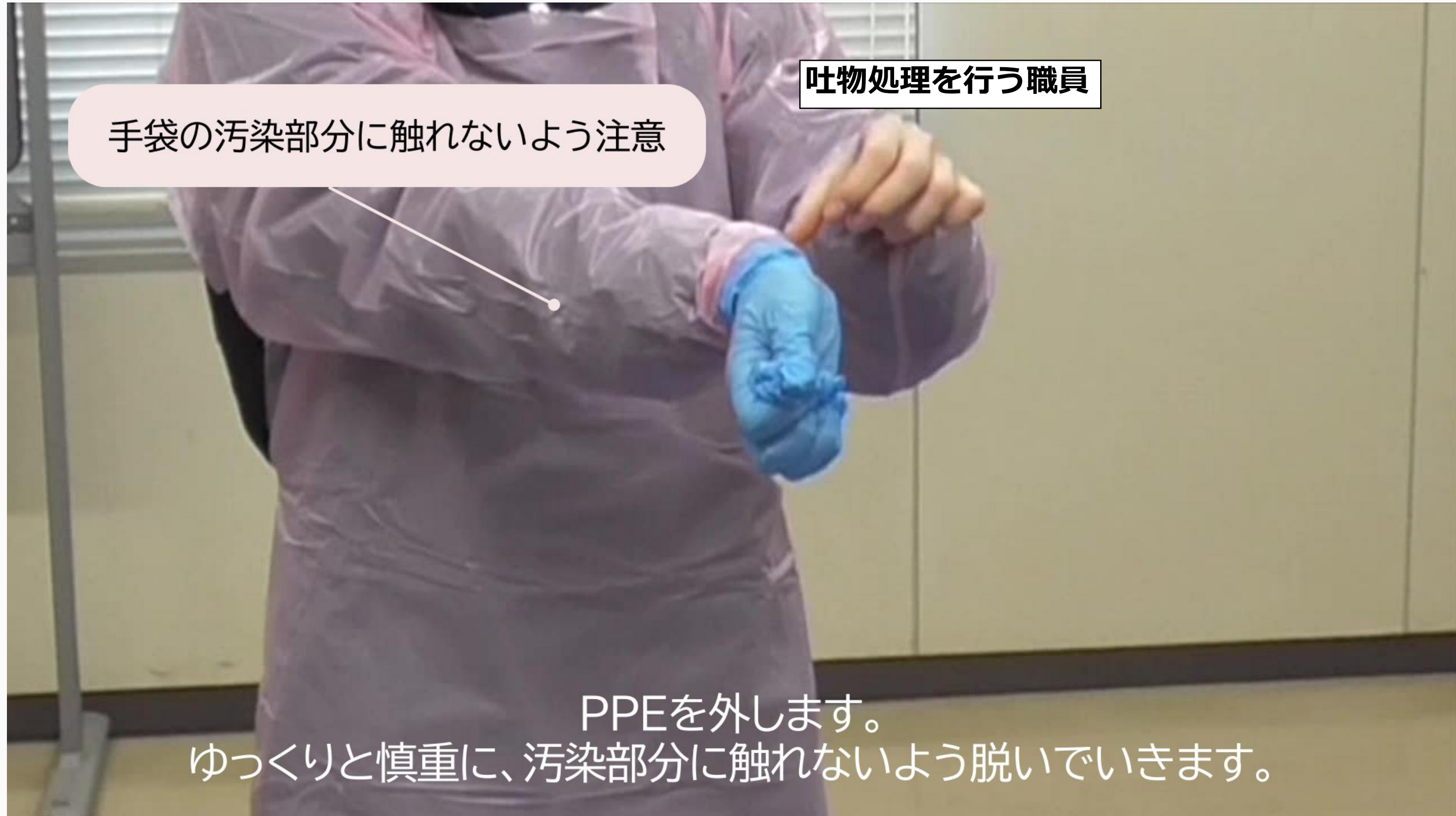
吐物処理エリア

靴のまま出る場合には、靴裏を消毒。
きれいなものに履き替えられるなら
履き替えましょう。

汚染されていないエリア

①8

手袋を脱ぐ



①9

ガウンを脱ぐ

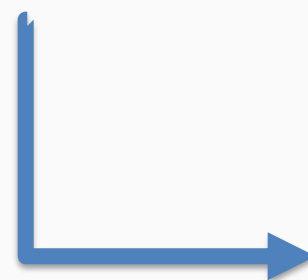
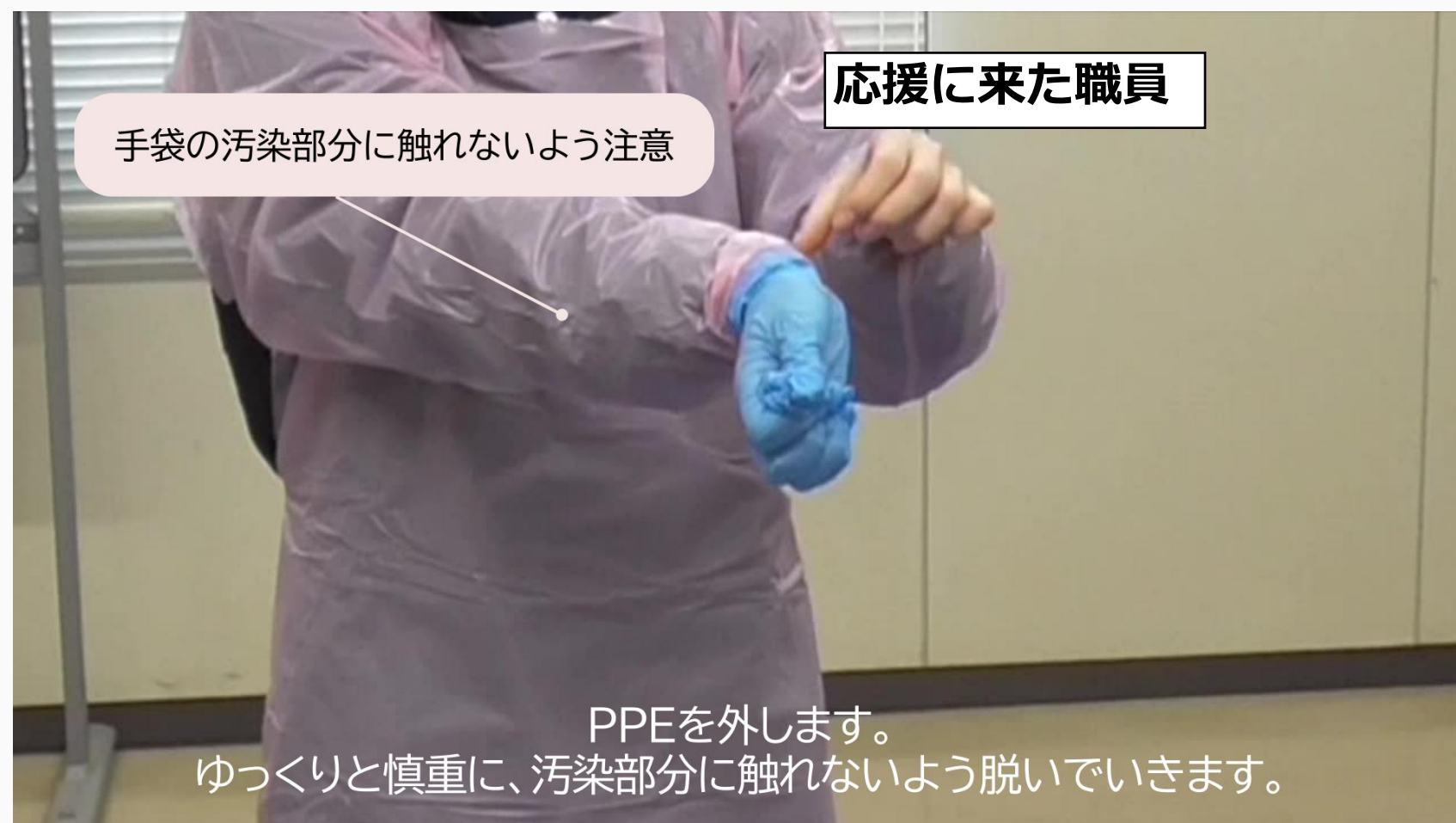
吐物処理を行う職員



ガウンの外側には触れず、内側に丸め込むように脱ぎましょう。

20

補助者も手袋→ガウンの順で脱ぐ



21

ゴミ袋を閉じる



ビニールの内側に触れないように
してゴミ袋の口をしぼる

廃棄するまでの間、
蓋付きのゴミバケツに入れて
人通りの少ない場所で保管

②②

マスクを脱ぐ

マスクの表面に触れないよう注意

別のビニール袋に捨てる。
空気を抜かずに閉じる！

舞い上がったウイルスを吸い込まないように、
吐物処理エリアを出た後にマスクを外す方法もあります。

23

手を洗う



最後にしっかりと手洗いをします。

ここまでが吐物処理です！

吐物処理後、しばらく窓を開け、十分な換気を行います。

紹介した処理方法は一例です。

各施設それぞれのやり方についても、意見交換で共有してみましよう。

感染防止の基本を守り、統一した処理手順ができることが大切です！
